

# 各常任委員会 年間テーマ

各常任委員会は、年間テーマを設定し、議会報告会や政策提言に向けて調査研究を行っています。

## 総務委員会

委員長 小沼秀朗

### 年間テーマ 市民を守る！新型コロナウイルス感染症対策

総務委員会では、長期化が予測される新型コロナウイルス感染症への対応策を令和2年度最重要課題と位置付け、感染予防と両立しながら社会活動を回復させていくよう、年間テーマを「市民を守る！新型コロナウイルス感染症対策」と設定しました。

既に総務委員会協議会において、新型コロナ緊急支援対策室のあり方、様々な支援事業に関する市民の皆様への周知伝達方法、避難所運営における新型コロナウイルス感染症対策等を協議しています。いかに命と暮らしと経済を守るのか、市民の皆様の声を反映しつつ、新しい生活様式を取り入れたまちづくりへの変革を推進してまいります。



## 環境産業委員会

委員長 山本裕三

### 年間テーマ ポストコロナを見据えた新たな生き方に合わせた移住定住策

環境産業委員会は、「ポストコロナを見据えた新たな生き方に合わせた移住定住策」を年間テーマとしました。

新型コロナウイルス感染症の影響で、市内の産業は危機的状況に陥っています。今後はこのコロナ禍において、人々の価値観が変容していくと考えられます。その中でも、テレワークや観光事業推進、サテライトオフィス等をキーワードに、現況について多方面からヒアリング等を行い、現在の課題に対応しながら、ウィズコロナ、ポストコロナ社会の中で掛川市をどのように活性化していくか調査研究をいたします。



## 文教厚生委員会

委員長 窪野愛子

### 年間テーマ 人生100年時代構想を踏まえた包括ケアシステムの現状と課題について

超高齢社会において、地域住民が住み慣れた地域で安心して自分らしく、最期まで暮らすためには、医療・保健・福祉・介護などの切れ目のない支援の充実強化が求められています。

本市は、国が推進する地域包括ケアシステムの考え方にに基づき、平成22年に開所した、掛川市地域健康医療支援センター「東部ふくしあ」をはじめ、市内5ヶ所に「ふくしあ」が設置されました。団塊の世代が後期高齢者となる2025年問題が迫り、今後その役割はさらに大きくなることでしょう。

文教厚生委員会では、人生100年時代構想を踏まえ、本市の「ふくしあ」を中心とした地域包括ケアシステムの現状と課題を調査研究し、政策提言に結び付けたいと思います。

